

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、東京女子医科大学東医療センター外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

切除可能食道癌術後の予後予測因子としてのC反応性蛋白値/血清アルブミン値比の意義の検討

[研究対象者] 2003年から2016年の間に食道癌に対する根治切除術を当科で受けられた方

[利用している診療情報等の項目] 診療情報等：

性別、年齢、診断名、手術術式

手術前の値；血清アルブミン値、C反応性蛋白値、Body mass index (BMI；身長と体重から求める体格指数)

癌細胞の組織分化度、腫瘍径（大きさ）、癌の占居部位、癌の深達度（深さ）、リンパ節への転移の有無、

UICC Stage（癌の病期分類）、癌の静脈への浸潤の有無、癌のリンパ管への浸潤の有無、生存率

等

[利用の目的] C反応性蛋白値と血清アルブミン値の比（CRP/Alb）は、癌患者に対する予後予測因子として有用といわれています。近年、食道癌の手術を受けられた患者さんにおいても、その有用性が報告されてきています。本研究では、C反応性蛋白値と血清アルブミン値の比と、予後（生存率）との関連を明らかにすることを目的としています。

（遺伝子解析研究：無）（営利企業との共同：無）

[利用期間] 倫理委員会承認後より2024年12月までの間（予定）

---

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 東京女子医科大学東医療センター外科 教授 塩澤俊一

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 東医療センター外科 浅香晋一

電話：03-3810-1111（内線）4155（応対可能時間：平日9時～16時）